



Vol.164

2024年8月号

やらざあ

石川県能登町にて、災害ボランティア活動を行いました



4月12日(金)に茅野市社協が用意しましたボランティアバスパックで、茅野市民10名の方々が石川県能登町で災害ボランティア活動を行いました。

もくじ

災害ボランティア支援
がっこう×ふくし(金沢小学校)

...	令和5年度事業報告・決算報告	-4-
-2-	社協会費ご協力のお願い	-5-
-3-	読者の声・クイズ等	-6-



なかには、大切な思い出の品もあります。
確認しながらいっしょに片付けをしました。



災害廃棄物の集積場では、木材や家電など種類ごと
廃棄する場所が決められています。効率よく運べる
よう分類して軽トラックに載せました。



参加者同士で声をかけあいながら活動。
大きな家財は、無理せず協力して運びました。

茅野市社協では、災害ボランティアの経験や活動を通して
学ばせていただいたことを、茅野市での防災活動や支え合い
活動に活かしていきたいと考えています。

この活動は、日本財団からの助成金を活用して実施しました。ありがとうございました。

Supported by 日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

＋ 石川県中能登町で運営支援を行いました。

3月15日～21日に、社協職員1名が、関東ブロック
応援職員派遣として、中能登町災害ボランティアセンター
で運営支援を行いました。

主に被災された方
のお宅に伺い、ボランティア
活動に入るために現地を
調査する業務を担いま
した。



＋ 防災について考える 社協職員研修を行いました！

災害時の社協の役割や必要な取り組みを考え
ました。

5月31日
実施



親子でいっしょに、「ふくし」を学ぼう！
～「親子deふくし」参加者募集のお知らせ～

聴覚障害者協会のみなさんとボッチャを楽しもう！

日時：8月25日(日) 13時30分～16時30分
場所：茅野市ひと・まちプラザ3階集会室
内容：生活の様子をお聞きする
手話で応援しよう
ボッチャを体験する



視覚障害の方と交流しよう！

日時：8月31日(土) 9時30分～12時30分
場所：茅野市ひと・まちプラザ101・102
内容：生活の様子をお聞きする
ガイドヘルプ体験
いっしょにお茶を楽しもう

対象：小学3年生から中学3年生

定員：6組

参加費：1組 500円 (お茶菓子代)

- ・親子ペアでお申込みください。
- ・2講座あわせてお申込みください。
- ・申込みは、8月1日(木)より受付けます。
- ・詳細は、社協ホームページよりご確認ください





がっこう



ふくし



金沢小学校

障がいのある方の普段の生活の様子と困りごとを知り、自分にできる支援や行動を考える

金沢小学校では、様々な人と出会い、交流や体験を通して、相手の立場になって考え、行動できるようになって欲しいと、2年生・5年生は保育園児との交流、6年生は車いすバスケットボール体験（※令和5年度 日本財団のパラサポ《あすチャレ！ジュニアアカデミー》活用）、1年生・4年生は社協の出前福祉教室…と、様々な方法で、福祉を身近に考える機会を作っています。

社協の出前福祉教室では、聴覚障がいと視覚障がいの方から普段の生活の様子を聞き、相手のことを知ることで、自分にできる支援や行動を考える機会としています。

ジェスチャーゲームで相手に伝える方法に挑戦！



耳が聞こえない人に「こういうことをすればいい」と分かりやすく教えてくれてありがとう。

1年生 聴覚障がい者の生活を知る



どんな福祉道具を使用して生活しているのかな？

耳が聞こえない人は、光と振動で危険や、チャイムを光にしていますごくかったです。

4年生 視覚障がい者の生活を知る



ミニゴールボールで目が見えないと耳が敏感になったので、目が見えない人もそうなんだと思いました。

アイマスクをしてゴールボールに挑戦！

音声機能を使って、パソコンから情報収集



目の見えない人の暮らしがわからなかったけれど、今日知ることができました。

学校の思い



学校長
三澤ゆり先生

本校の子どもたちは、優しい気持ちや思いやりの気持ちをたくさん持っています。その気持ちを、自分にできるやり方で、もっともっと表せるようになって欲しい、困っている人や悲しい思いをしている人のために精一杯の力を出せる人になって欲しいと願っています。

その原動力は、まず知ること。なかよし月間は、人との触れ合いや体験を通してたくさん知ること、福祉を「自分事」にしていく大切な機会です。講師の皆さんに教えていただいたことを、大切にしていきたいと思います。

障がいのある方の生活を知り、体験を通して感じた子どもたちの気づきや思いに、私たちも改めて気づかされることがあります。これからも学校と協力しながら、学びの機会を作っていきたいと思います。



令和5年度 事業報告・決算報告

茅野市社協では、多くの方々から福祉への理解と参加を得ながら、区・自治会、関係する団体・機関及び茅野市との協働による小地域福祉活動の推進の他、各種日常生活支援・在宅福祉サービスなどの受託事業も数多く行いました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症による行動制限等も緩和され、コロナ禍前のように事業を実施しました。また、「令和6年能登半島地震」では、富山県氷見市をはじめとする被災各地へ職員派遣や災害ボランティアバスパック等、被災地支援に取り組みました。今回の地震災害において、義援金など被災地へのご支援をいただきました多くの市民の皆さんにあらためて感謝申し上げます。

事業報告

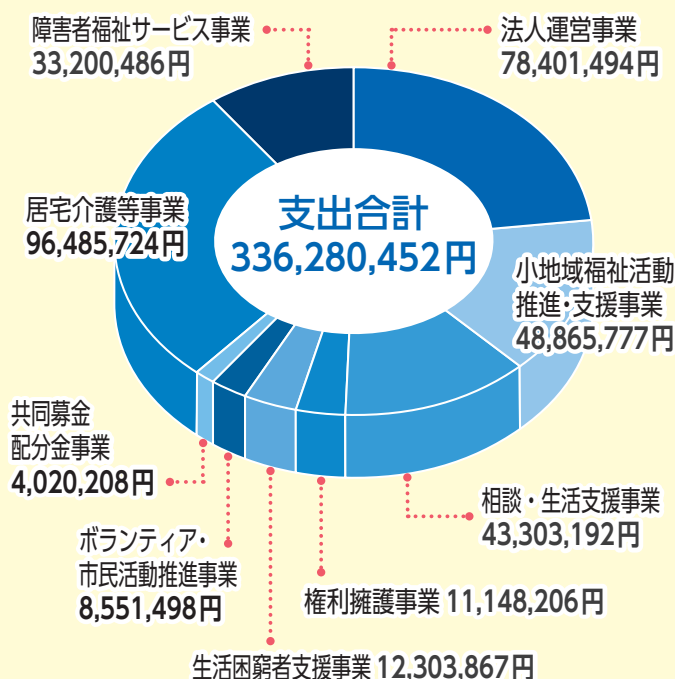
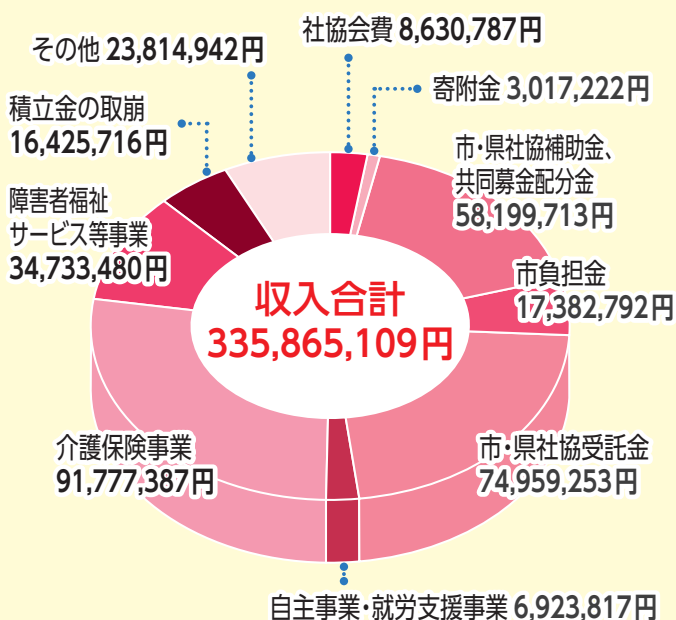
主な取り組み（社協会費活用事業）

- 1 理事会、評議員会、経営委員会の開催
- 2 社協会員の募集 世帯（個人）・法人の会員
- 3 寄附の状況
（寄附金42件、遺志金4件、その他54件）
- 4 広報紙「やらざあ」の発行（年6回）
出前福祉教室「がっこう×（カケル）ふくし」
毎号掲載
- 5 福祉推進委員連絡会（31回）、
区・自治会の取り組みへの支援（56回）
- 6 コミュニティソーシャルワーカーの配置
（個別訪問・相談支援3,921件）
- 7 結婚相談所の開設（相談38件）
- 8 司法書士法律相談の開催
（開催12日、相談31件）
- 9 シャララほっとサービス事業の実施
（利用348件）
- 10 出前福祉教室の開催（50回）
- 11 ボランティア体験サマーチャレんじの開催
（参加者94人）
- 12 ボランティア・市民活動への助成
（18団体、659,906円）



その他の事業報告については社協ホームページをご覧ください。

決算報告



社協会費 ご協力をお願い

～みなさんから寄せられた会費が「福祉でまちづくり」を支えます～

「誰もが心豊かに安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めるために、毎年、市民のみなさん、企業・団体のみなさんから、社協会費をいただいております。この社協会費は、地域福祉推進の貴重な財源として活用させていただいているほか、市内10地区の地区社会福祉協議会に還元し、地域での「支え合い」のための事業の費用として大切にに使わせていただきます。また、災害が発生した場合には、災害ボランティアセンターの設置や活動のための費用に使わせていただきます。

茅野市社協の会費にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。特に社協の福祉事業推進にご賛同ご協力いただけるみなさまは賛助会員・特別会員として、企業・団体のみなさまは法人会員として、ご協力をお願いいたします。

令和5年度ご協力報告

		会員数	会費
世帯(個人) の会員	普通会員	6,965 世帯	6,861,777円
	賛助会員	272 世帯	546,010円
	特別会員	156 世帯	517,000円
法人会員		145 団体	706,000円

みなさまご協力いただきありがとうございました。

新規賛助・特別会員も募集中です！
社協の活動にご賛同いただける方は、社協会費のご協力をお願いいたします。



ご協力いただいた社協会費の使いみち（令和5年度の一例）



ボランティア活動の推進・支援

ボランティアまちづくり活動に関する相談・支援や、災害時のボランティア活動の支援を行っています。

◀富山県氷見市での
災害ボランティア活動

福祉教育の推進

学校、地域、企業等を対象に、福祉の学びの機会として「出前福祉教室」を実施しています。

茅野高等学校の車いすバスケットボール体験▶

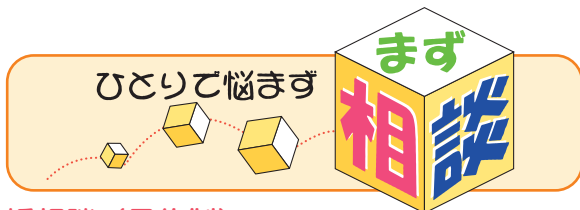


小地域福祉活動の支援

各地区の社協が行っている活動を支援しています。地域のみなさんと力を合わせてまちづくりを行っています。20%が地区社協の活動費、約40%が地域の福祉活動支援に活用されました。

◀ ちの地区社協の研修会





結婚相談（予約制）

※相談希望日の2営業日前までに予約が必要です

結婚を望まれる方の相談

毎月第1・3土曜日 午後1時～午後4時

毎月第2・4金曜日 午後6時30分～午後8時30分

相談員：結婚相談員

8月3日(土)は茅野どんぱん開催のため閉所となります。

司法書士の法律相談（予約制）

※前日の午後4時までに予約が必要です

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時～午後5時

相談員：司法書士

相談会場は社協相談室(茅野市ひと・まちプラザ2階)になります。 ☎ (0266) 73-4431

上記以外の様々なお困りごとにも社協にご相談ください。

読者の声

- 能登半島地震のボランティアお疲れ様でした。なかなか事情でボランティア活動は出来ませんが、特産物の購入、募金等、自分のできる支援を続けていきたいです。(ちの 40代)
- 以前に勤務していた学校のことが福祉教育として取り上げており、興味深く読ませていただきました。地道な活動ですが、取り組む姿勢がよいです。(ちの 70代)
- 読み書きが出来るようになり楽しく学校へ行っています。(米沢 7歳)

ご寄附ありがとうございました

令和6年4月1日～令和6年5月31日まで

【寄附金】

匿名 2,000円
茅野ライオンズクラブ、諏訪大社ロータリークラブ、
茅野ロータリークラブ様 133,020円

【寄贈】

湯田坂 宏子様 タオル 5.0kg
匿名 介護用おむつ 3点 匿名 飲料、お菓子

【フードドライブ】

検校庵 檀家様 食品(お米、缶詰、レトルト他)

みなさんからいただいたご寄附は、社協運営事業、ボランティア活動の支援等にも使われています。

※この他にも匿名で多くの物品やご寄附をいただいております。

茅野市社協の施設では、清拭に使う綿の古布が不足しています。
不要な布をお持ちの方は、寄附をしていただけると助かります。

社協広報紙 やらざあ Vol.164

社協HP



2024年8月号

発行／社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集／PR委員会

〒391-0002

茅野市塚原2-5-45 茅野市ひと・まちプラザ2階

TEL (0266) 73-4431 FAX (0266) 73-8030

令和6年能登半島地震災害義援金へのご協力ありがとうございます



令和6年1月1日に発生した能登半島地震災害の義援金に皆様から温かいお気持ちと、ご協力に感謝を申し上げますとともに、現在の募金状況を報告いたします。

6月28日までの義援金は

1,769,203円 でした。

義援金は12月27日(金)まで受け付けています。

設置場所は、茅野市社会福祉協議会事務所内・茅野市ひと・まちプラザ1階・茅野市役所入口となっております。引き続き温かいお気持ちと、ご協力をよろしくお願いいたします。

- 能登半島地震の支援に行かれたんですね。お疲れ様でした。自分の所だって、いつどうなるかわからない事、いつも心の中にあります。人ごとじゃありません。(泉野 60代)
- 茅野市社協が氷見市・半田市・伊賀市と「災害時における相互支援に関する協定」を締結している事を知り、お互いに協力できていること、皆様に感謝です。(70代)

今回のクイズ

金沢小学校の
がっこう×ふくしにちなんで…
なんの果実かな？



金沢小学校の校章は、かつて金沢の両町筋に植えられていた「ある果実」の並木にちなみ、図案化され、校章となりました。その「ある果実」とは何でしょう。

① あんず ② もも ③ うめ



応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢(年代)、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあのご感想、つぶやきなど一言添えて社協PR委員会までお送り下さい。ハガキや封書の他、ホームページのお問い合わせフォームからも応募できます。正解者の中から抽選で3名の方に社協法人会員協力店にて使える商品券を差し上げます。

応募締め切り 令和6年8月14日(水)

前回のクイズの答え ちのし

当選者

佐藤和夫さん(中大塩) 竹内賢太郎さん(本町)
40代匿名の方 沢山のご感想ありがとうございました。

当選された方には社協法人会員協力店にて使える商品券をお送りいたします。

ご応募ありがとうございました。



社協広報紙 やらざあ の発行にはみなさんからの社協会費と共同募金が使われています。